

# 様式集

様式第1号（第2条関係）

年 月 日

（宛先）伊勢崎市長

申請者 住 所  
氏 名  
電 話  
指定給水装置工事事業者  
住 所  
氏 名  
電 話

開 発 配 水 管 帰 属 等 申 請 書

開発配水管の帰属等について、関係書類を添えて申請します。

- 1 水道の使用場所（対象地番全てを記入）  
伊勢崎市
- 2 工 事 の 名 称 地内 工事
- 3 開 発 目 的 1 宅地造成による土地分譲  
（○で囲む。） 2 宅地造成及び分譲住宅建築  
3 その他（ ）
- 4 開発行為等の概要 開発面積 m<sup>2</sup> 区画数 区画  
配水管口径 mm 布設延長 m  
制水弁 基 消火栓 基  
空気弁 基 給水管口径 mm
- 5 開発行為等の工期 着工 年 月 完成 年 月
- 6 給 水 希 望 年 月 年 月
- 7 添 付 書 類 (1) 位置図  
(2) 開発計画平面図  
(3) 開発配水管布設平面図  
(4) 開発配水管布設詳細図  
(5) 使用材料一覧表  
(6) 給水工事設計書  
(7) 道路位置指定通知書又は協議経過書  
(8) 公図

# 〇〇町地内配水管布設工事【開発帰属】 〇-〇

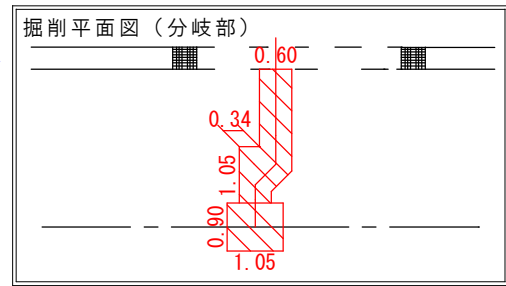
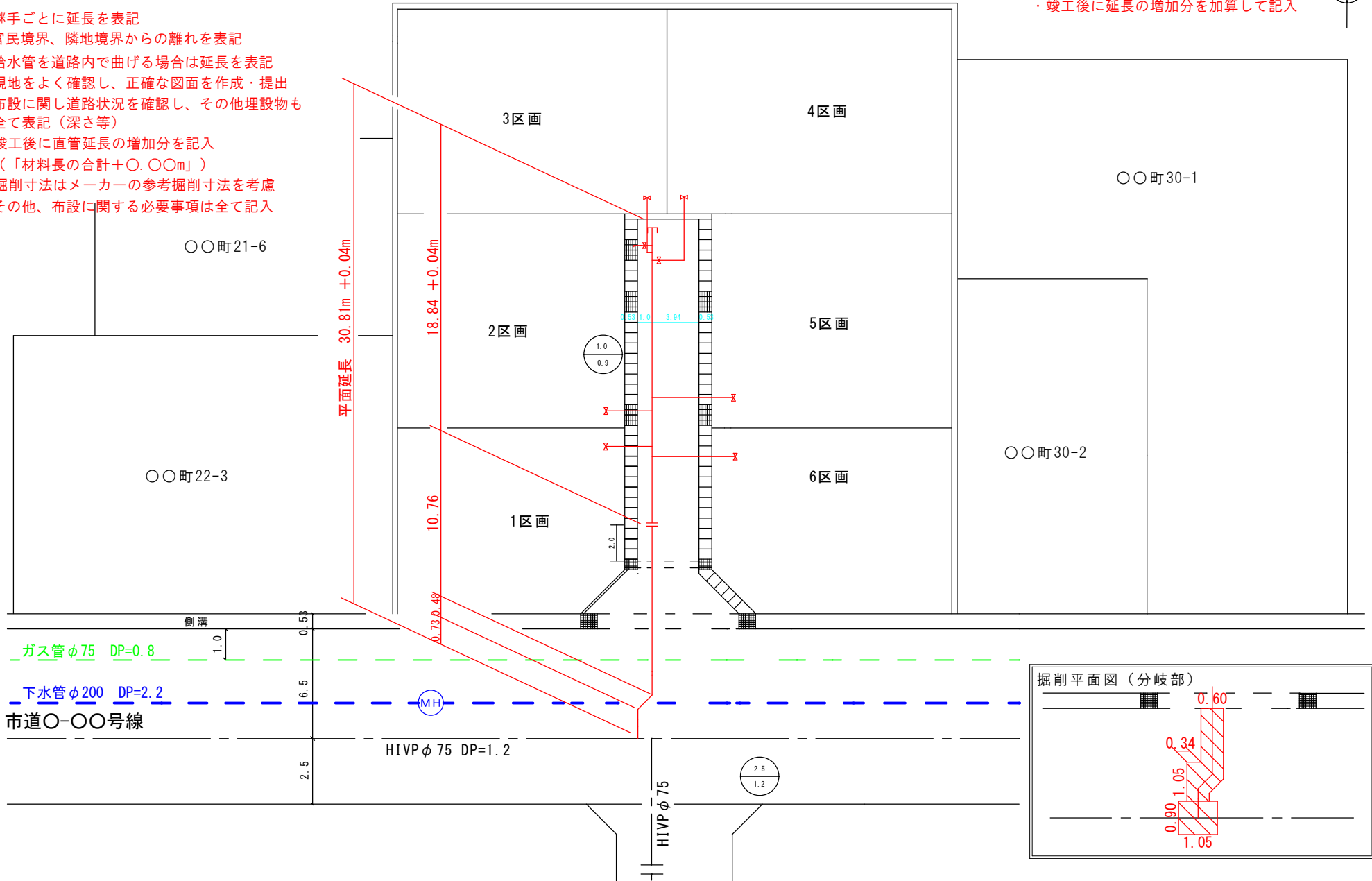
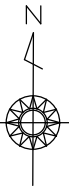
## 配水管布設平面図

- ・ 継手ごとに延長を表記
- ・ 官民境界、隣地境界からの離れを表記
- ・ 給水管を道路内で曲げる場合は延長を表記
- ・ 現地をよく確認し、正確な図面を作成・提出
- ・ 布設に関し道路状況を確認し、その他埋設物も全て表記（深さ等）
- ・ 竣工後に直管延長の増加分を記入  
（「材料長の合計+〇.〇〇m」）
- ・ 掘削寸法はメーカーの参考掘削寸法を考慮
- ・ その他、布設に関する必要事項は全て記入



平面延長 30.85m

・ 竣工後に延長の増加分を加算して記入



# 〇〇町地内配水管布設工事【開発帰属】 〇-〇

## 配水管布設詳細図

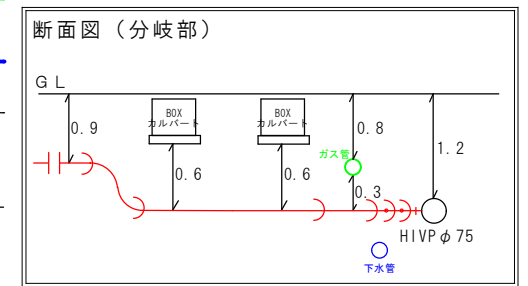
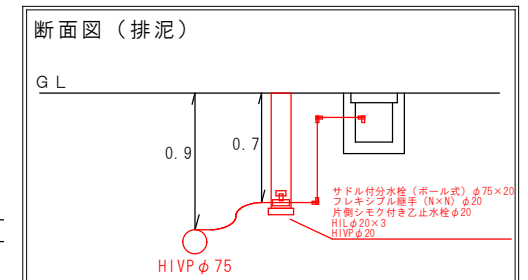
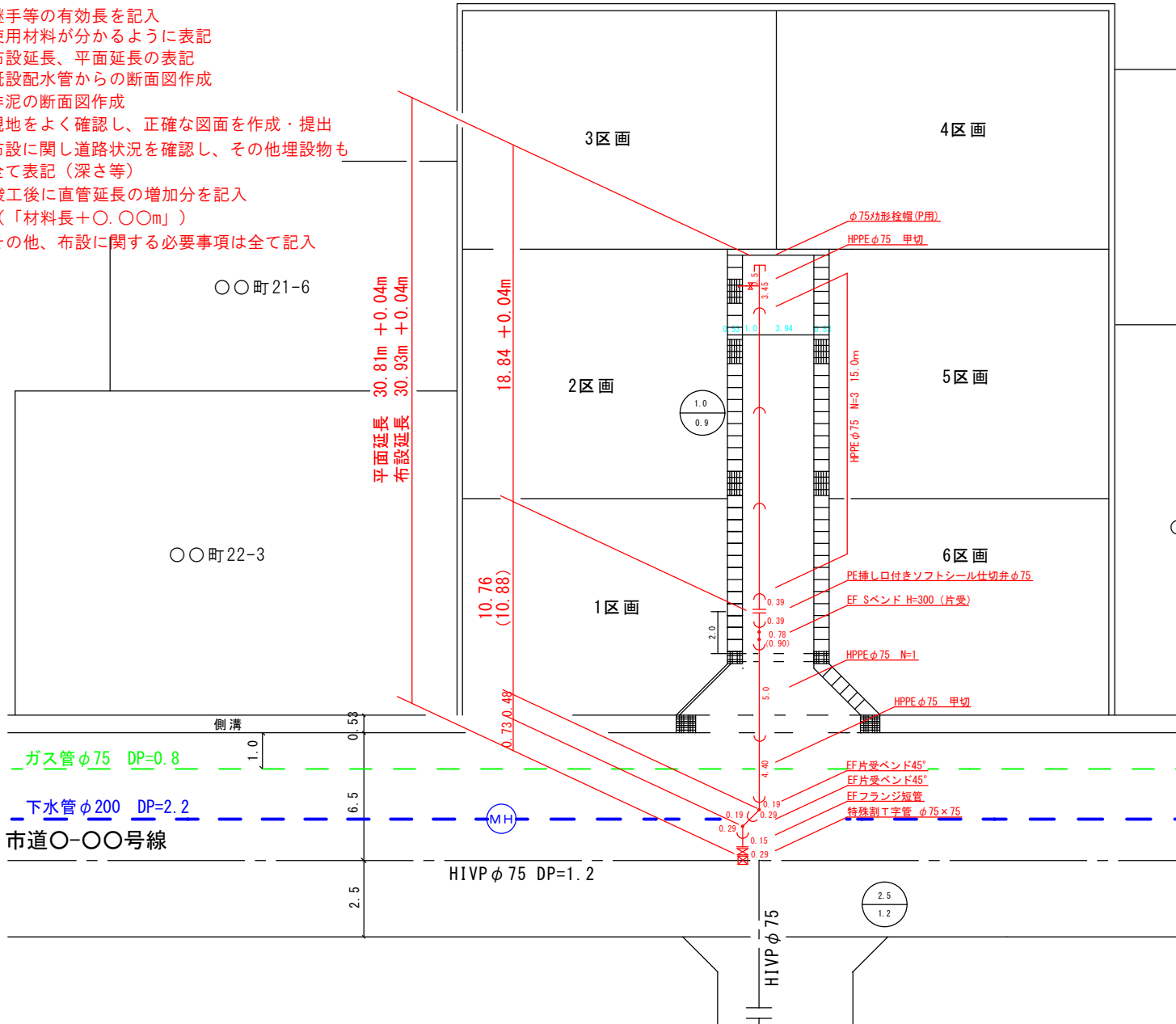


平面延長 30.85m  
 布設延長 30.97m



・竣工後に延長の増加分を加算して記入

- ・継手等の有効長を記入
- ・使用材料が分かるように表記
- ・布設延長、平面延長の表記
- ・既設配水管からの断面図作成
- ・排泥の断面図作成
- ・現地をよく確認し、正確な図面を作成・提出
- ・布設に関し道路状況を確認し、その他埋設物も全て表記（深さ等）
- ・竣工後に直管延長の増加分を記入（「材料長+〇.〇〇m」）
- ・その他、布設に関する必要事項は全て記入











課長	係長

## 工事打合せ書

工事名	
施工者	
工事場所	

事 項				発議年月日	監督員	現場代理人
項 目				年 月 日	⑩	⑩
指示	承諾	協議	提出			

項 目	上記について	承諾 不承諾	年月日	監督員	現場代理人
		回答 受理	年 月 日	⑩	⑩

(理由)

注 打合せの都度2部作成し、各々保管する。

開 発 配 水 管 引 継 書

年 月 日

(宛先) 伊勢崎市長

申請者 住所

氏名

伊勢崎市上下水道局開発配水管帰属等受入基準第7条の規定により、次の開発配水管を引き継ぎます。

1 工事の名称

2 配水管

管種口径 mm、 平面延長 m、 布設延長 m

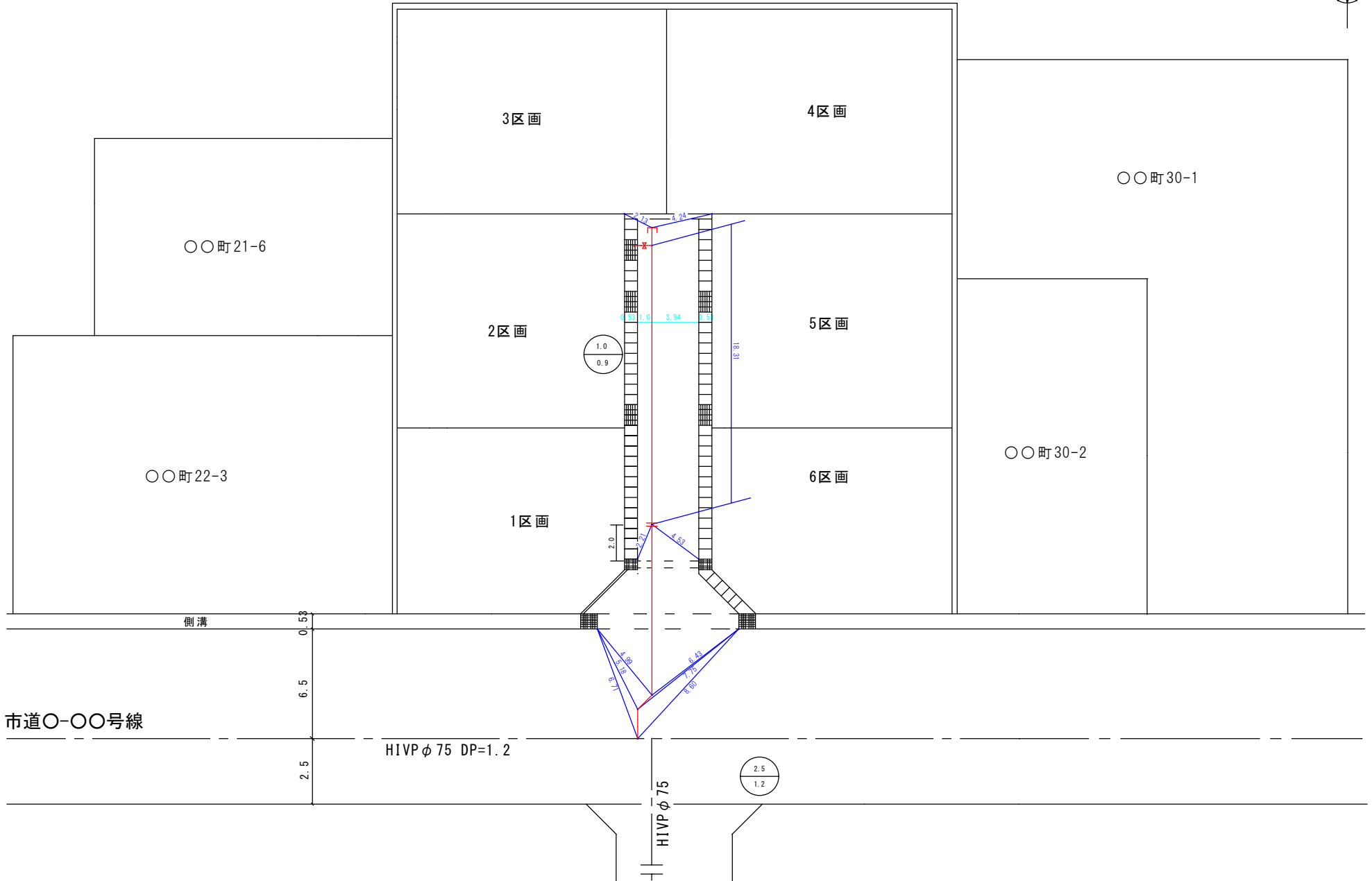
3 弁栓類

制水弁 基、 消火栓 基、  
空気弁 基

4 寄附予定道路に開発配水管を入れた場合の添付書類

- (1) 登記事項証明書の写し（伊勢崎市に所有権移転済のもの）
- (2) 公図の写し

〇〇町地内配水管布設工事【開発帰属】 〇-〇  
 竣工オフセット図



















# GX形継手 チェックシート(直管・P-Link)

年 月 日

工事名	
図面No.・測点	
呼び径	

		配管工

**1 直管**

**b寸法の合格範囲**

呼び径	合格範囲(mm)
75	8~18
100	8~18
150	11~21
200	11~21
250	11~21
300	14~24
350	14~25
400	14~25
450	14~25

**2**

**3 P-Link 締め付けトルク: 100N・m**

**b寸法の合格範囲**

呼び径	合格範囲(mm)
75	54~63
100	57~66
150	57~66
200	63~72
250	63~72
300	70~80

**4 締め付けトルク: 100N・m**

**5**

**6**

管 No.									
管の種類									
略図/ライナ									
継手 No.									—
挿し口突部の有無									—
清掃・異物の除去									—
ライナの位置確認(d部)※1									5 6
受口溝(ロッキング)の確認									—
挿し口の挿入量の明示									4 5
爪、押しボルトの確認(P-Link)									—
滑 剤									—
マーキング(白線)位置の確認※2									4 5
挿入量目安線(赤線)と受口端面間距離の確認(異形管挿し口)※3									6
マーキング(白線)の明示(異形管挿し口)※4									6
受口端面～ゴム輪 間隔(b)※5	全周チェック								1 3
	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
	⑦								
受口端面～白線 間隔(a)注)	①								2
	③								4
	⑤								
	⑦								
押しボルト	本数								4
	トルク確認								
判 定									—
備 考									

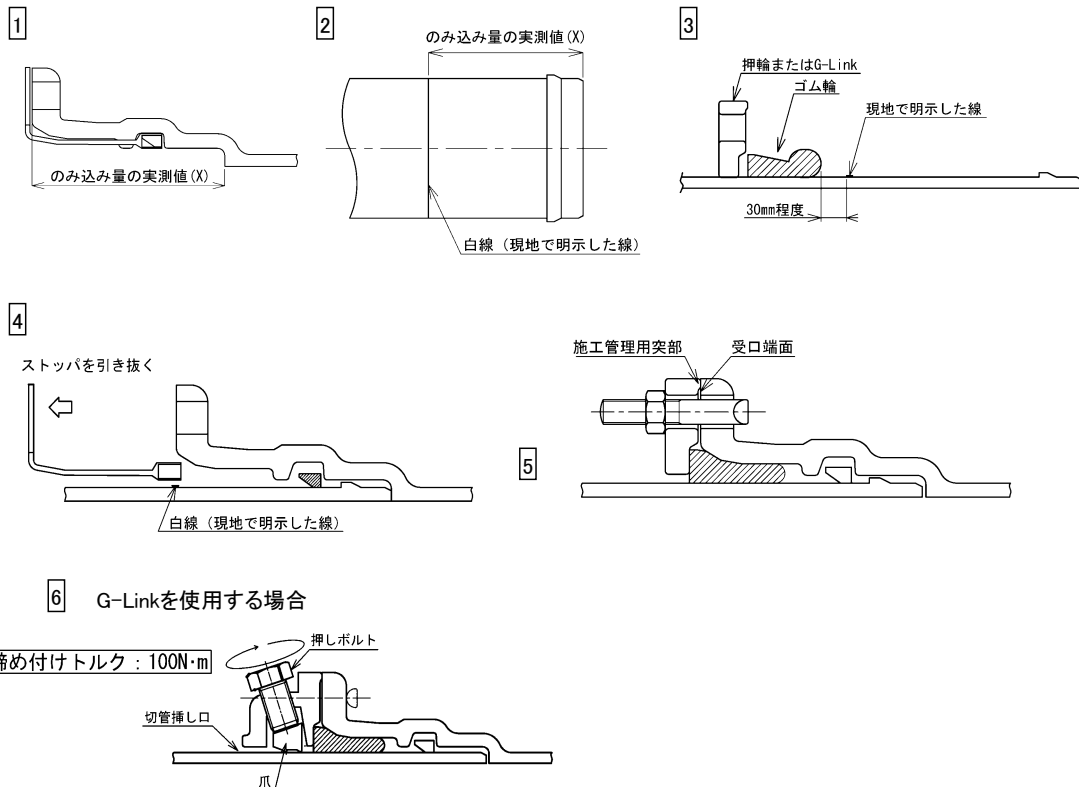
判定基準 : ※1 ライナが受口奥部に当たっていることを確認する。  
 ※2 接合直後にマーキング(白線)位置が全周にわたり受口端面の位置にあるか確認する。  
 ※3 挿入量目安線(赤線)と受口端面間距離が全周にわたり10mm以下であるか確認する。  
 ※4 挿し口外周へ受口端面位置の白線を表示したか確認する。  
 ※5 受口端面～ゴム輪間隔(b)が表に示す合格範囲内であること。また、曲げ接合してチェックゲージがゴム輪位置まで挿入できない場合は、チェックできなかったことを記載する。  
 注) P-Linkの場合は受口端面からの直部長さ 4 a寸法を記入する。

# GX形継手 チェックシート(異形管・G-Link)

年 月 日

工事名	
図面No.・測点	
呼び径	

		配管工



管 No.								
管の種類								
略図								
継手 No.								—
挿し口突部の有無 <sup>注)</sup>								—
清掃・異物の除去								—
ロックリング、ストップの確認								—
挿し口の挿入量の明示								1 2
爪、押しボルトの確認(G-Link)								—
ゴム輪、押輪またはG-Linkの確認								3
滑 剤								—
ストップの引き抜き								4
抜け出しチェック(挿し口突部有り)※2								—
T頭ボルト	本数							5
受口端面～ 施工管理用突部 の隙間 ※1	箇所数							5
	隙間ゲージ 確認							
押しボルト	本数							6
	トルク確認							
判 定								—
備 考								

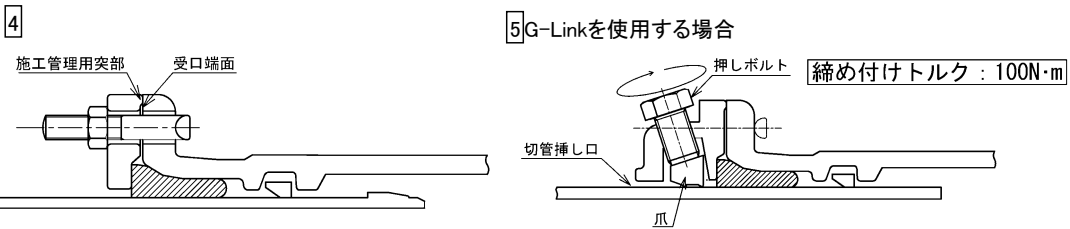
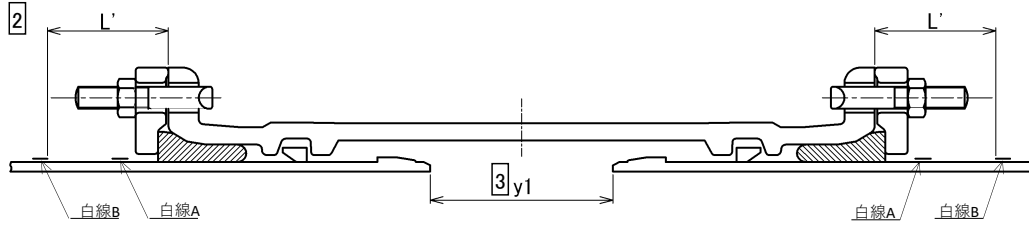
判定基準 ※1 受口端面と押輪またはG-Linkの施工管理用突部との間に0.5mm以上の隙間がないこと。  
 ※2 挿し口を異形管受口に挿入し、ストップを取り外した後、挿し口を上下左右前後に振って抜けないことを確認する。  
 注) 挿し口突部のない挿し口を異形管受口と接合する場合は、G-Linkを使用すること。

# GX形継手 継ぎ輪チェックシート

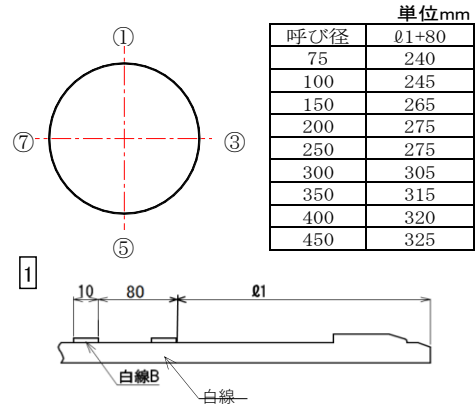
年 月 日

工事名	
図面No.・測点	
呼び径	

		配管工



管 No.			
管の種類			
略図			
継手 No.			—
挿し口突部の有無 <sup>注1)</sup>			—
清掃・異物の除去			—
白線A,Bの明示			1
爪、押しボルトの確認(G-Link)			—
ゴム輪、押輪またはG-Linkの確認			—
滑 剤			—
ロックリング、ストップの確認			—
ストップの引き抜き			—
受口端面～ 白線の間隔 (L') <sup>注2)</sup>	①		2
	③		
	⑤		
	⑦		
両挿し口端の 間隔 (y1) <sup>注2)</sup>	①		3
	③		
	⑤		
	⑦		
T頭ボルト	本数		4
	箇所数		
受口端面～ 施工管理用突部 の間隔 ※	隙間ゲージ 確認		4
押しボルト	本数		5
	トルク確認		
判 定			
備 考			



(i) 一方から順次配管していく場合

単位mm	
呼び径	L'
75	90
100	95
150	110
200	120
250	120
300	135
350	145
400	150
450	155

(ii) せめ配管の場合

単位mm	
呼び径	Y
75	190
100	200
150	240
200	250
250	250
300	300
350	300
400	300
450	300

判定基準 ※ 受口端面と押輪またはG-Linkの施工管理突部との間に0.5mm以上の隙間がないこと。  
 注1) 挿し口突部の無い挿し口を異形管受口と接合する場合は、G-Linkを使用すること。  
 注2) 一方から順次配管していく場合にはL'寸法、せめ配管の場合はy1寸法を記入すること。

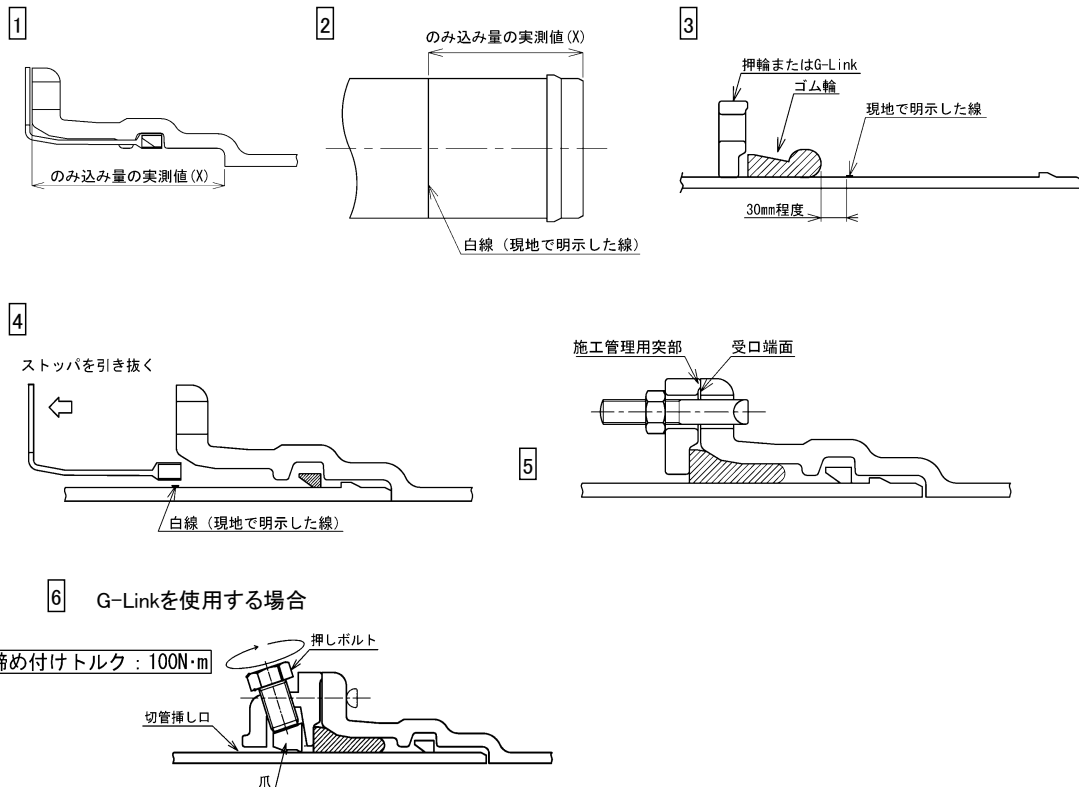


# GX形継手 チェックシート(異形管・G-Link)

年 月 日

工事名	
図面No.・測点	
呼び径	

		配管工



管 No.									
管の種類									
略図									
継手 No.									—
挿し口突部の有無 <sup>注)</sup>									—
清掃・異物の除去									—
ロックリング、ストップの確認									—
挿し口の挿入量の明示									1 2
爪、押しボルトの確認(G-Link)									—
ゴム輪、押輪またはG-Linkの確認									3
滑 剤									—
ストップの引き抜き									4
抜け出しチェック(挿し口突部有) <sup>※2</sup>									—
T頭ボルト	本数								5
受口端面～ 施工管理用突部 の隙間 <sup>※1</sup>	箇所数								5
	隙間ゲージ 確認								
押しボルト	本数								6
	トルク確認								
判 定									—
備 考									

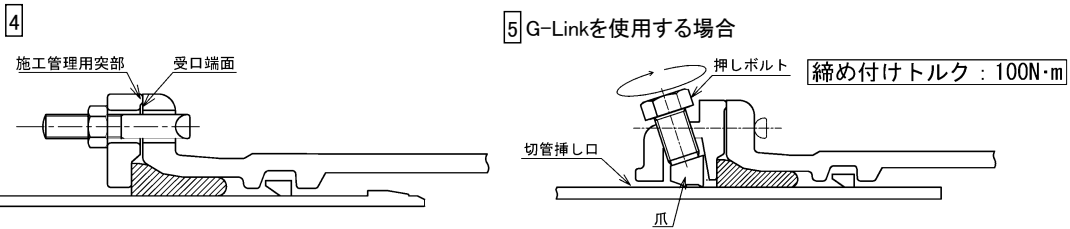
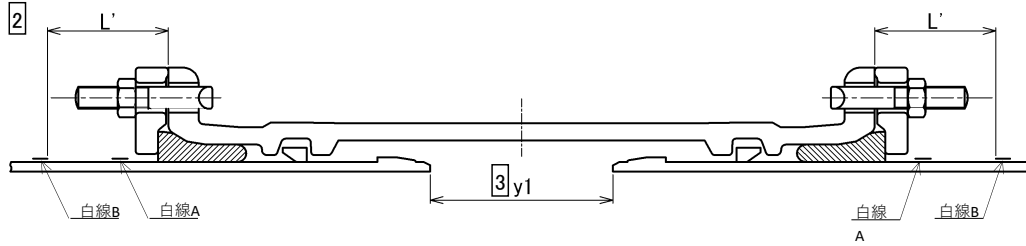
判定基準 ※1 受口端面と押輪またはG-Linkの施工管理用突部との間に0.5mm以上の隙間がないこと。  
 ※2 挿し口を異形管受口に挿入し、ストップを取り外した後、挿し口を上下左右前後に振って抜けないことを確認する。  
 注) 挿し口突部のない挿し口を異形管受口と接合する場合は、G-Linkを使用すること。

# GX形継手 継ぎ輪チェックシート

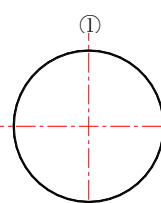
年 月 日

工事名	
図面No.・測点	
呼び径	

	配管工



管 No.			
管の種類			
略図			
継手 No.			—



単位mm	
呼び径	φ1+80
75	240
100	245
150	265
200	275
	275
300	305
350	315
400	320
450	325

挿し口突部の有無 <sup>注1)</sup>		←挿し口突部の「有」「無」の区別を記入する。※挿し口は挿しリングを使用する。	
清掃・異物の除去		←接合要領書に従って、管を清掃したら「OK」を記入する。	
白線A,Bの明示		←白線A,Bを明示したら「OK」を記入する。(切管挿し合)	
爪、押しボルトの確認(G-Link)		←接合要領書に従って、爪および押しボルトを確認したら「OK」を記入する。(G-Linkの場合)	
ゴム輪、押輪またはG-Linkの確認		←接合要領書に従って、ゴム輪、押輪またはG-Linkを確認したら「OK」を記入する。 ①	
滑 剤		←接合要領書に従って、滑剤を塗布したら「OK」を記入する。	
ロックリング、ストップの確認		←接合要領書に従って、ロックリングおよびストップを確認したら「OK」を記入する。	
ストップの引き抜き		←ストップを引き抜いたら「OK」を記入する。	
受口端面～白線の間隔 (L') <sup>注2)</sup>	①	←挿し口白線Bと受口端面の間隔(L') (mm)を記入する。(順次配管の場合)	
	③		
	⑤		
	⑦		
両挿し口端の間隔 (y1) <sup>注2)</sup>	①	←両挿し口の間隔(y1) (mm)を記入する。(せめ配管の場合)	
	③		
	⑤		
	⑦		
T頭ボルト	本数	←締め付けたT頭ボルトの本数(本)を記入する。	
受口端面～施工管理用突部の隙間 ※	箇所数	←押輪の施工管理用突部と受口端面の隙間を隙間ゲージで確認した箇所数(箇所)を記入する。	
	隙間ゲージ確認		←接合要領書に従って、隙間のないことを隙間ゲージで確認したら「OK」を記入する。
押しボルト	本数	←締め付けた押しボルトの本数(本)を記入する。(G-Linkの場合)	
	トルク確認	←押しボルトを規定のトルク(100N・m)で締め付ければ「OK」を記入する。(G-Linkの場合)	
判 定		←全てのチェック項目を満足していれば「OK」を記入する。	
備 考			

(i) 一方から順次配管していく場合

単位mm	
呼び径	L'
75	90
100	95
150	110
200	120
250	120
300	135
350	145
400	150
450	155

(ii) せめ配管の場合

単位mm	
呼び径	y1
75	190
100	200
200	250
250	250
300	300
400	300
450	300

判定基準 ※ 受口端面と押輪またはG-Linkの施工管理突部との間に0.5mm以上の隙間がないこと。  
 注1) 挿し口突部の無い挿し口を異形管受口と接合する場合は、G-Linkを使用すること。  
 注2) 一方から順次配管していく場合にはL'寸法、せめ配管の場合にはy1寸法を記入すること。

# EF接合チェックシート

EF接合チェックシート											
工事名：											
呼び径： <span style="margin-left: 100px;">mm</span>				施工場所：							
発電機の機種名：						コントローラの機種名：					
正常作動確認： 正常 (100V~110V)      異常						正常作動確認： 正常 (エラー表示なし)      異常					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">確認ポイント</div>											
継手No.											
略図											
天候											
融着	管の点検・清掃										
	切削長さのマーキング										
	融着面の切削										
	融着面の清掃										
	挿入標線の記入										
	管と継手の挿入・固定										
検査	正常終了の確認	正・異	正・異	正・異	正・異	正・異	正・異	正・異	正・異	正・異	正・異
	通電終了時刻	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
	インジケータの確認										
冷却	冷却時間(分)										
	固定の解除時刻	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
接合総合判定		合・否	合・否	合・否	合・否	合・否	合・否	合・否	合・否	合・否	合・否
備考：											
施工年月日				施工会社名				現場代理人氏名		施工者氏名	
年 月 日											